

家庭で新型インフルエンザの患者さんを看病するときの注意点

- 感染の拡大を予防するために家庭で看護するときは、次のことを守るようにしましょう。
- 発熱後 7 日間は気をつけましょう。

*1 マスクをつけましょう

患者さんには、「不織布マスク」をつけてもらいましょう。

マスクは、最低 1 日 1 回は交換し、濡れたり、汚れたりした時にはできるだけ早く取り替えるようにしましょう。

看護するかたも、患者さんと接する時にはマスクをつけましょう。



*2 看病にあたるかたを一人決めましょう

家庭で看病にあたるかたを一人に限定しましょう。

他の家族は不必要な接触を避け、患者さんとは別な部屋で寝るようにしましょう。不要不急の訪問・面会以外はお断りしましょう。

やむをえない場合には患者との濃厚接触を避けるよう配慮しましょう。

家庭で新型インフルエンザの患者さんを看病するときの注意

*3 汚れた物を処理する時はマスク・手袋をつけ手洗いを心がけましょう

嘔吐物や便など汚染物を処理する時は、マスク・手袋をつけましょう。

その後の手洗いも十分にしましょう。

◆患者さんが、咳やくしゃみをするときは口や鼻をティッシュで覆うようにしてもらいましょう。

◆使用したティッシュはすぐに捨て、その後は流水と石鹸で手をよく洗いましょう。

◆水が使えない場合はアルコールを含んだ手指消毒薬を使いましょう。

◆汚れた衣類は、汚れを取り除き、漂白や熱湯消毒をしましょう。

◆ティッシュなどを捨てる時は、ビニール袋などに入れ、口を縛って捨てましょう。



*4 リネン・食器の洗浄は通常通り

患者さんが使用した食器やタオル・衣類等は通常通り、水や洗剤を使って洗います。

他の家族と分けて洗う必要はありません。



*5 ドアノブ・手すりは定期的に消毒をしましょう

塩素系漂白剤かアルコールを含んだ消毒液で、定期的（1 日 1 回以上）にふき掃除を行いましょう。

こんな方は要注意！

症状が出た場合は、早めに受診しましょう。

- ・妊娠中の方
- ・65 歳以上の方
- ・5 歳未満の方
- ・慢性疾患をお持ちの方（慢性疾患；心疾患、呼吸器疾患、腎疾患、糖尿病、血液疾患、神経疾患など）



*慢性疾患をお持ちの場合は…長期投薬をしていただけるように主治医の先生に相談しておきましょう。



